



千歳市

令和3年7月28日 17時30分現在
千歳市長会見（定例会見）発表資料
資料担当：教育委員会教育部埋蔵文化財センター
役職・氏名 センター長 久保田 健司
Tel 0123-24-4210 内線 -
E-mail maibun@city.chitose.lg.jp

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録について

1 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の概要

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、17の考古遺跡で構成される。北東アジアにおいて長期間継続した採集・漁労・狩猟による定住の開始、発展、成熟の過程及び精神文化の発達をよく示しており、農耕以前における人類の生活の在り方と精緻で複雑な精神文化を顕著に示す物証である。

◎構成資産

垣ノ島遺跡、北黄金貝塚、大船遺跡、入江貝塚、高砂貝塚、**キウス周堤墓群**、大平山元遺跡、田小屋野貝塚、三内丸山遺跡、二ツ森貝塚、小牧野遺跡、大森勝山遺跡、亀ヶ岡石器時代遺跡、是川石器時代遺跡、御所野遺跡、伊勢堂岱遺跡、大湯環状列石

2 世界文化遺産登録までの主なあゆみ

平成21年1月 世界遺産暫定一覧表に記載
平成24年12月 史跡キウス周堤墓群が構成資産に追加
令和元年7月 文化審議会世界文化遺産部会において世界文化遺産推薦候補に選定
令和2年1月 政府が推薦書をユネスコへ提出
9月 ユネスコの諮問機関であるイコモスによる現地調査
令和3年5月 イコモスより「記載」が適当との勧告
令和3年7月 ユネスコ世界遺産委員会において世界遺産一覧表に記載が決定

3 史跡キウス周堤墓群の概要

周堤墓は縄文時代後期後葉（紀元前1200年頃）に造られた集団墓で、地面を円形に掘りくぼめ、その土を周囲に環状に積み上げて構築した周堤の内部に複数の墓穴を設けたものである。キウス周堤墓群の指定地内には現在9基の周堤墓が存在し、周堤は最大で、外径が約83m、底面から周堤上面までの高さが約4.7mに達し、周堤墓として他に例のない規模を誇る。墓地遺構としては、縄文時代最大級の構造物である。

キウス周堤墓群の保存及び活用の取組として、令和2年度は、駐車場の拡張整備やボランティアガイド養成講座の開催、「史跡キウス周堤墓群保存活用計画」の策定、「千歳市景観条例」の制定などを行っており、令和3年度は、仮設ガイダンス施設の設置やボランティアガイド事業を開始したほか、「史跡キウス周堤墓群整備基本計画」を策定予定であり、今後増加が見込まれる来訪者に史跡の価値や魅力を広く伝えるため、受入体制の整備を進めている。

4 添付資料

- ・キウス周堤墓群の保存及び活用の主な取組（概要）